



▲店内に所狭しと並べられた商品はまさに芸術作品。

藤原さん。自分だけのお気に入りをみつけるのもよし、贈り物にもきっと喜ばれるはずです。

GOODS

SPECIAL MESSAGE

神戸百店会だより



★米寿記念に
GALLERY

大清書局

セントラーブラサ西館2F
にある淡州堂には、多種多様の陶器が勢揃い。立坑焼
清水焼、有田焼、美濃焼や
陶芸作家の作品などの新しい商品が次々に店頭に並べ
られています。「ありふれたものでなく、個性的な商
品をそろえ、お客様のニーズにこたえられるようにし
たい」とおっしゃる店長の藤原さん。自分だけのお気
に入りをみつけるのもよし、贈り物にもきっと喜ば
れるはずです。

10/19(木)～20(月)まで
美術舗・播新の2F、「ギヤラリー・はりしん」にて
牛田憲三さん(86)の初個展が開かれました。友人に説かれていたのもあり、めきめき上達。会場には約25年に渡って描かれたものから力作約30点が展示され、花鳥風月をあしらった、やさしい南画を見に多くの人が詰め掛けていました。

牛田憲三文人書展

▲牛田憲三さん（右）と息子の正憲さん

価格でお求めになれます。
電 078-360-6050
★ベニヤ ウイング ハー
バーランド店
森真珠と同じく、オーガ
スター・ラザの3Fにお目見
えした。"ベニヤウイング"ハ
20代から30代のスポーツテ

ヤルコレクション テラム
ゴールドやスイス天然サファイア
アイアを使用した”センチメート
リーザー”の時計など種類が
豊富。安いものは一ヶ月前
から冠婚葬祭用のバーゲン
の2~3点セレクトも半額
と、とてもリーズナブルな

港街神戸から波(ウェーブ)をイメージした明るい店内には、ネットクレス、リングをはじめ、たくさんのが

★森真珠 オーガスタブラン
ザ店 (3F)
前回に引き続いて、ハーバーランドに新しくオープ
ンした3店をご紹介します。

★ボーランド店
神戸ベルグループからカ
ラオケフィットネス「ボー
カラスマジック」5号店がモ

電 078-360-6037
れにも行けるおしゃれな服
を集めています。スカーフ
やアクセサリー、バッグ、
靴もあるので、トータルの
ファッショングーディネー
トが可能。そのほかには、
銀製品や陶器の小物まで、
さまざまに楽しめるファッ
ションを提案してくれるお
店です。

エレガンスを基調に品揃えしています。色は、パステル調で、ジャケット、ワンピース、ブラウス、スカート、パンツなどの単品を異素材で、シック、ラグジュアリーで、おしゃれな女性のための洋服です。



▲インテリアも美しいウッディ
調の店内。

132

PEOPLE <106>



●気さくに楽しくイタリア料理を
長谷川隆俊さん〈オリエンタルホテルB1タペルナデルルボ店長〉

北野町にあるベルゲンで7年間経験を積み、その姉妹店タベルナ デル ルポに移り5年目の長谷川さん。「堅苦しくないサービスで、イタリア本土の陽気さそのままに、気軽に楽しく食べてもらいたい」との言葉どうりにお店は毎日大盛況。年中無休のホテルで忙しいながらも、しっかりした味づくりには余念がありません。

TOPICS

●神戸の靴屋「ペルル」
9月26日(土)、三宮本通り
にオープンしたペルル。「靴
のわがままにお応えできま

A black and white portrait of Kenichi Kawabe, the host of the show. He is a middle-aged man with dark hair, wearing a light-colored button-down shirt. He is looking slightly to his left with a neutral expression.



川金岱一

NEWS

★ゴーフル・アルテア北野に
アイバン・バロン氏来る
去る10／14～19に、ゴーフルアルテア北野にて「アイバン・バロンによる来日記念展」が開催されました。

●オリエンタルホテルから
お知らせ
★藤田まこと 麻丘めぐみ
ジョイントディナーショー



●神戸の靴屋「ペルル」
9月26日(土)、三宮本通り
にオープンしたペルル。「靴
のわがままにお応えできま
す」が謹い文句。というのは
イメージオーダーシステム
で、素材・色・形を自由に組
み合わせることができる
ら。その上社工場直販システム
テムなので、良質の靴がうな
しいプライスで求められま
す。デザイン・サイズ(21-
26cm)とも豊富。あなただけ
のオリジナルショーツも作
ってみませんか?おしゃれなイ
ンポートシューズもおいてい
ます。☎078-1332-1662



藤田まこと

演奏／ハイエルン放送交響樂
樂團／日時／平成 5 年 3 月 30 日
会場／神戸国際会館 大ホール
料金／S席￥220、000
A席￥16、000
B席￥12、000
C席￥8、000
演奏曲目／R・ワグナーピアノ曲目



● 078-1331-8111(代)
田崎真珠クラシック オブ
クラシック

★川合俊一トーキョー
2F▼紫陽花の間
(ディナー、ドリ
ンク、税、サ共)
日時/11月20日(金)

78
151-8171
■ ブラームス 交響曲第2番
お問い合わせ
神戸国際会館

■大阪では11月15日㈯に
開催。詳しくはゴーフルアル
デア北野4Fギャラリー
155555まで。078

仕事を反映するように女性がモチーフ。その表情と微妙だけれども厚みと温かさのある色使いが印象的です。



▲「親友



▲アイバン・バロン氏

ひとつ・いん



★still 開店3周年

東門街入口近くのスナック・スタイルが3周年を迎

え、10月5～9日の記念サービスで連日大賑い。まんが家高橋孟先生が来店者全員の似顔絵を描いて、「ワーピング！」とお客様も大喜び。抽選でボトルが無料キープ出来るとあって、当選するまで通った人も…。

A black and white photograph of a group of people, approximately ten individuals, standing together in an indoor setting. In the foreground, a man with glasses and a white shirt is looking towards the camera. Behind him, a woman in a patterned dress is also looking forward. The background shows shelves and what might be a kitchen or dining area.

加藤ママ（奥左）大忙しの高橋先生



落ち着いた店構えの鈴江

花鈴（かりん）では、料亭

ピン人のロニー君の日本語も板に付いて来て、ママの関東弁と絶妙の会話がまた楽しい。加藤ママは、神戸まつりでも神戸っ子チームでサンバを踊ったり、2ヶ月に一度はボーリング大会

お屋のお勧めは、俄段お
当の御所御膳が3千円。ま
た午後4時からの夜の部で
は、本格的懷石膳が3千円
から楽しめます。

本格的な懷石料理を手頃な値段で食べたい。そんな思いを満たしてくれるのが、神戸ハーバーランド内阪急百貨店6階の料亭鉛江。旬の素材を用い、季節を織り込んだその料理は、目と舌においしい。

などを催して、元気ハツラツのお店。

★カリーノ元年の主張

地鶏の骨からとったブイヨンで伝承ソースの旨みとコクをだし、
「自然尊重」素材にこだわり合成保存料や着色料は一切使用せず、
「医食同源」仕上げに38種類のスパイスはつまり、漢方薬と同じもの。

ご家庭にお届けします！
ナチュラルミネラルウォーター

- 丹波の水 (1ケース・1ℓ-15本) 3000円
 - Cha-Cha 「コーヒー、お茶専用」 (1ケース・1ℓ-15本) 4500円
 - 丹波の水 タンク20ℓ入 1800円

●サンプル等ご希望がございましたら、ご一報下さいませ

■お申し込み先・お問い合わせ先 (窓) ゼネラル・フル・サービス

〒650 中央区花隈町3-12 アニル・エッセ・アイ内

TEL: 078-371-6808 FAX: 078-371-4368

1千円から。11月から鴨肉とネギのカリーオーも登場。

■中央区明石町40番地旧居留地38番館 電078-331-4032

10時~19時 毎週水曜日定休

★ル・シャボオテで秋の宴

実際に飲んで味わい楽しむ、それがワインだ。

香豊かで爽なボジョレー

・ヌーボーに合わせた料理

が、解禁日(11月19日)から

楽しめる。題して「ボジ

ヨレー・ヌーボーとリヨン

の晩秋」。チーズ入りシユ

トから始まりエスカルゴ、

玉ねぎのタルト、7種の野

菜のポタージュ、そしてメ

インは川かますのクネル、

リヨン風ビーフのミロト

ン、仔羊のバージル風味、

牛ロース・ステーキの中か

らひとつ、自慢のデザート

にコーヒーかティ、これに

オージュー社の新酒125mlが

ついて5千円(税別)。

優雅な時を過ごされるこ

とをお勧めする。

★KOB E

デビュースポット

デュオこうべ浜の手の

あんばんや

麺麦羅座



長靴をはいた猫と店主

角にあるパレード北野の地下にあるB.A.N.B.O.O.は静かな落ち着いた大人の雰囲

気のBAR。孟宗竹と天井

の白い帆布のライティング

が優しいインテリアは高橋

真治さん。クラビノーバと

ベースの楽器ヴァンボーテ

ンさんのモノクロの絵、流

れるモダンジャズがマスター

の趣味の良さを感じさせ

る。塙村裕一さんはヒゲを

たくわえ、トニー!と呼ば

れていたこともあるそ

う

ーの趣味の良さを感じさせ

る。塙村裕一さんはヒゲを

たくわえ、トニー!と呼ば

れていたこともあるそ

う

塙村 裕一さん



塙村 裕一さん

な。酒づくり肴づくりと腕

・器の好みもバツグン。ミ

ックスドリンク900円。ワイ

ン有。ビール700円。スコッ

チ850円。

■中央区山本通2の3の12番

ド北野B1F 19時~1時日曜休

電078-261-8999

★この秋大人の時間が

始まります

この夏オープンした広東

料理のTEI・TE六甲マ

リンパーカ店が、シーサイ

ドのナイトタイムをゆつく

り過ごして頂こうと、バー

スペースを誕生させた。

(PM8~12)夜8時にな

ると店内のBGMがJAZ

Zに変わり、各テーブルに

はキャンドルが灯る。やが

て照明もトーンを落とし、

店内は夜のバーに包まれ

ていく。多彩なカクテルを

はじめスコッチ、バーボ

ンなど、従来のバーに引け

をとらないメニューを揃え

ている。また、アルコール

抜きで同じおいしさが楽し

めるバージンカクテルが揃

っており、お酒が弱い人

や、車の人でも安心だ。

夜のシーサイドで大人の

時間をすごしてみては。

■中央区東川崎町1丁目2-3

電078-350-4607~8

3

第3水曜休

ポケット
ジャーナル



平成四年度「兵庫県文化賞」受賞者
発表される!!

兵庫県は長年の文化事業の功労者に対し、その業績を称えると共に努力を認め、「平成四年度兵庫県文化賞」を贈呈することを、11月3日に発表。受賞された各分野の受賞者の方々は左記の8氏である。

鯰坂二夫(甲南女子大学長)
文化振興
印部すゑこ(兵庫県新生活
運動推進協議会長)
高村 謙(団体役員)

上右より左へ鶴坂、印部、高村、小林の各氏
下右より左へ佐伯、本庄、宮重、和田の各氏



イモ煮は東北地方ではよく
が開催される。

晚秋の頃は北アメリカでは感謝祭、国内では豊年の祭など収穫と勤労を尊ぶ祭事が国内外を問わずに催される。

▼北野チャリティー「国際
イモ煮まつり'92」開催
和田悟郎（神戸女子大講
師・俳人）

文化財保護
小林平一（瓦製造業）
いけばな
佐伯一甫（華道家）
写真
本庄光郎（写真家）
書道
宮重小蘭（書家）
文芸（俳句）

■日時 11月23日（月・祝）12時より～小雨時決行▽

■場所 北野天満神社境内「港」の見える丘 ▽風見鶏の館西隣▽

■参加方法

二十五周年記念誌大反響
誕生日ありがとう運動の二十五周年記念誌の「誕生日を福祉の日に」は、七月末に発刊しました。

神戸市立六甲山牧場では、
牧場で製造販売する「神戸牛」
「チーズ」や「レストラン」の
「チーズフォンデュ」等の
チーズ料理が人気を博して
いる。

そこでグルメを通して牧場の魅力を満喫し、楽しんでもらおうと、チーズや牧乾草（ほしくさ）を利用して六甲山牧場・グルメフェスタを開催する。

イベント内容は、大人から子供まで楽しめるものとなつており、「牧乾草運び競争」、「チーズグルメラリ

張っています。（島根県浜田市本運動地域社会ボランティア）
◇編集にいたずわられたみなさんのご苦労が凝縮された内容のある本です。わたしも、とても嬉しい気持ちで手にいたしました。（西園市本運動友の会代表　主婦）
誕生日ありがとう運動本部
551 神戸市中央区御幸通八一―六
神戸国際会館内 郵便局の隣
TEL FAX ○七八一三三二一
一二一四

愛読者のためのコミュニケーションサロン



神戸っ子俱楽部新会員 継続会員ご案内

■神戸っ子俱楽部では、ただ今会員を募集しています。会員の方には「月刊神戸っ子」を1年分お届けします。また、神戸っ子俱楽部の会報として、「月刊神戸っ子」の誌面上に、「神戸っ子俱楽部ニュース」を毎月掲載、会員の動きなど様々な情報を提供します。さらに年2回、文化性の高いイベント（コンサート、美術展、演劇など）に特別割引または無料でご招待いたします。年会費（入会金を含む）は1万円です。

神戸を愛する人たちのカルチャークラブ「神戸っ子俱楽部」。あなたもご入会になって豊かな神戸っ子ライフをお楽しみになりませんか。

会員の方は有効期限をお確かめのうえ、継続会員として年会費をお納めください。

□入会申込・お問合せは――

〒650 神戸市中央区東町113-1 大神ビル9F

TEL. 078-331-2246

FAX. 078-331-2795

★ Kobecco club 会員情報



「洋和服の二人」1933年

KODE
秋の芸術祭
1992.12.6



一般 3000円
ペア 5000円
会員の方10組20名様に招待券プレゼント。締切は14日
着。

■上記チケットを御希望の方は、ハガキに住所・氏名・会員No.・電話番号・希望枚数を明記の上、〒650 中央区東町113-1 大神ビル9F 月刊神戸っ子・神戸っ子俱楽部まで

開館記念特別展 小磯良平の世界

□ 11月3日(火)～12月13日(日)

神戸市立小磯記念美術館

開館 10時～17時（入館は16時30分まで）

一般 ¥700・大学生 ¥600

高校生 ¥500・小中生 ¥250

シルバー ¥350（当日券）

※前売券・団体割引あり

毎週月曜日休館（11月23日は開館）

TEL (078) 857-5880

気品あふれる隠やかな画風が人々に親しまれていた小磯良平。彼の没後、アトリエに遺されていた作品や蔵書等を展示した「小磯記念美術館」が11月3日にオープンしました。会員の5組10名様に、御招待券をプレゼントします。

カネボウルーティ 映画試写会
「ベートーベン」（お正月公開）

とき 11月30日(月) 19時

ところ 神戸国際会議場

（ポートアイランド）



この映画の招待券とカネボウルーティ（シャンブレーとリンスのセット）を会員の方5組10名様にプレゼント。締切は11月26日着。

この物語の主人公、
セントバーナードの
ベートーベン君。

•ショート・ショート(8)

星くず川原のパーティ



玉岡かおる

カット・灘本唯人

その夜は予感があったのだけどー。七年ぶりに、そう、タイガースの優勝という予感より強く、あの人には会えるのではないか、と。

あの人には会ったのは土曜日だった。だからただそれだけのデータで、仁志に買ってもらう入場券を土曜日に指定した。もちろん彼は、

「そんな早よ決まらへん。今年のタイガースは劇的やから、絶対甲子園で二勝をあげて、プレー・オフに持っていくはずや」

虎キチの本領を発揮してかばいだてた。

七年前、あの大フィーバーの中で、"あの人"とかわした約束は、今も忘れない。「来年会おう。またタイガースが優勝して、お祭り騒ぎになつたら、この川原で」 むろん、再びの夢はかなわず、七年がむなしく過ぎた。あの頃私はその川のほとりにある大学の寮に住んでいた。パニック状態の電車の駅の喧騒からはじき出され、結局その夜は歩いて帰ることになつた。夜も遅いというのにいたるところでお祭り騒ぎ。不思議な夜だった。ましてご近所である川原で、誰かが灯油缶で焚き火をしながら六甲おろしをわめきたてているのを発見した時は冗談のような気がした。立ち止まって思わず目をこらした。若い男がワンカップを手に浮かれていた。ちゃんとスーツを着た、まともな恰好の男だった。彼は土手を

通りかかったあたしの前後を行く人々に、手を挙げて呼び止めた。

「当たっていきませんか。祝勝会です」

そして、近くのコンビニの袋に入った、たくさんの飲み物を掲げてみせたのだ。あたしの前を行く人が、おっ、いいですね、と即座に応じて土手を下りた。あたしの後ろの人も、やりましょう、このまま家に帰るなんてもったいないですからな、と、後に続いた。

「どうです、そこ行くおねえさんも」

あたしのことだった。コートを羽織った中年の眼鏡おじさんが呼んだのだ。すると焚き火男が言つた。

「だめだめ、子供は夜更かししちゃ。早く帰つて、虎のぬいぐるみ抱いて寝な」

縞の帽子に自分で編んだ縞のカーディガン。黄色いメガホンなんか首に下げていたから、きっと高校生に見えたんだ。

「これでも二十歳です」

本当は二ヶ月先、誕生日がきたら、の話だった。だがあたしは反動でそう言うと、土手を下りていた。寮の門限がちらりと気になつたが、タイガースの優勝した夜に、まじめに帰れというほうが無理難題というものだ。焚き火の周りにはそうやって十人ばかりも集まつただろうか。サラリーマン風あり、自由業風あり、近所で商店経営という人もいた、そして“あの人”は、その中心になつて笑つていた。それは文字通り、その日その時間に川原を歩いていたというだけのアツトランドムな集まりだった。ただ、全員が甲子園でタイガースのドラマチックな勝利を目撃してきたファンであるという以外には、そうやって旧知の仲間のごとく和気あいあいと焚き火の周りに集うだけの共通点は何もなかつた。

“あの人”的隣で、カンチューハイをもらつてその日の試合の話をした。あたしは真弓の大ファンで、手製のカーディガンの背中にも名前と背番号を編み込んでいるのを自慢したら、やるな、と言つてほめてくれた。“あの人”は掛布が好きで、最下位だった年には頭に彼の背番号の刺りこみを入れたと言つていた。やるじゃん、とあたしも返した。

家族や友人からはさんざんに狂氣の沙汰だと言われていることが、同じ意識の人間には褒め言葉以外にはならない。楽しかつた。あんなに楽



しいことを体験したのは初めてだった。満月が空に高かった。そして星が一杯、秋の冷氣の中で冴えていて、ふだん気にもとめなかつたささやかな川幅いっぱいに、その星空が映っていた。するとその時だった、「誰や、こんなところで火イ焚いとるんは！」

大きな声がした。

「こらアカン、おまわりや」

誰かの声と同時にみんながいっせいに駆け出した。あたしもそうだった。だが、カンチューハイ一杯で、情けないことに足元がふらついている。オジサン達がすでに後ろ姿だけを見せて土手をかけのぼつたというのに、あたしは石ころに足をとられて滑つて落ちた。

「こらあ」

すぐ背後に警官の足音があつた。そしたら“あの人”がかけ下りてきて、何しとるんや、早よッ！ あんた未成年やろ

あたしの腕を掴んで抱えあげてくれた。

ここでつかまついたらかなりうるさいことになつていていたと思う。の後、ただの門限破りとして一週間トイレ掃除だけですんだのは、“あの人”的おかげだった。

そのお礼も言いたい。何より、あたしがこうして社会人になつたこと、お酒だつて強くなつたこと、そして、あの不思議な川原のパーティ以来、名前も知らない“あの人”に恋していいたあたしに、こうして仁志という生身の恋人ができたこと。そんなこんなを、ふたたびのお祝い気分の中で報告してみたかった。

星が出た。月も出た。七年たつて、やつとチャンスの出てきた夜。だがその夜、“あの人”が好きだった掛布の去つたタイガースに、幸運の女神は微笑まなかつた。「また来年」。名前も知らない“あの人”と手をとりあつて駆けた夜の約束は、また実らなかつた。



（著者紹介）

昭和31年生。神戸女学院大学卒業、中学校講師を勤めた後、フリーライターに転進。60年に「ノンノ」のノンフィクション大賞受賞。62年「夢喰い魚のブルーフードペイ」で神戸文学賞受賞。平成1年に同作品を新潮社より上梓、今年5月には文庫化（新潮社）された。また、4月には初の書き下ろし長編で3冊目の「ザイルント・ラヴ」を新潮社から上梓し、好評を得ている。